



『夏の暮らし』の学習の一環として、脱穀作業の道具などの見学に来ていた3年生も脱穀の作業体験をしました。
地域のの方に教えていただきましたが、真剣に取り組んでいました。



コンバインの中に、足踏み脱穀機と同じものが入っています！手作業とは違い、あっという間に籾と藁を分けてくれるすごい機械です！使ったあとの掃除がとても時間がかかるそうです。

脱穀した後も藁がたくさん混ざっていたので、橋本さんのコンバインでさらに籾(稲の実【種】)だけをより分けてくださいました。
今年の収穫量は、玄米で約29kgでした！昨年よりも収穫量は増えました！
玄米からさらに精白米に橋本さんがしてくださいますが、5年生全員での籾摺り体験を今後予定しています。

脱穀した後の藁で、縄や草履ができます。最後まで捨てることなく利用することは、昔の方々の知恵ですね。



先に帰られて、写真に写っていただけていない方もいらっしゃいます。

稲刈りに続き、脱穀作業にも地域の方がたくさん協力してくださいました。
今年は激しい雷雨のため、脱穀作業が一時中断してしまいました。籾と藁を分ける作業などが最後までできず、地域の方々が最後まで片づけをくださいました。5年生が途中中断してしまった作業は、とても時間のかかる手作業だったので体験して欲しかっただけに残念でした。
雨があがってから、再び5年生全員で集まり、橋本さんのお話を聞きました。現在の農業や今後の農業について、また『いただきます(動植物の生命をいただくという意味)』や『ごちそうさま(駆け回って食事をつくっていただいていることに対する感謝の意味)』の話聞き、改めて食事の大切さを考えるよいきっかけになったのではないのでしょうか。